

令和6年度公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	いこいの家蛭雪荘		
管理者名	株式会社関越サービス	指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
担当課	西蒲区 健康福祉課		
所在地	新潟市西蒲区巻甲121番地1		
根拠法令	老人福祉法 第5条の3, 第15条第5項, 第20条の7		
設置条例	新潟市老人福祉センター条例, 同施行規則		
施設概要	◇敷地面積 1,651.10 m ² ◇建築面積 337.86 m ² ◇延床面積 324.82 m ² ◇構造: 木造鋼板葺平屋建 ◇設置年月 平成17年9月 ◇施設内容 ロビー, 管理室, 和室 (27畳×1, 8畳×2), トイレ (男女各1, 障がい用1), 浴室・脱衣場 (男女各1), 湯沸室, 倉庫, 機械室		

施設設置目的
高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を目的として、新潟市老人福祉センターいこいの家蛭雪荘を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 関係法令、条例、規則等を遵守、施設の設置目的に沿った適正な管理を行う。 【重点課題】 ・ 関係法令、条例、規則及び業務仕様書に定める事項の遵守 ・ 施設の設置目的にふさわしく、かつ明確な運営 (2) 利用者が安心して利用できる体制の整備、また平等な利用を確保する。 【重点課題】 ・ 利用者の安全確保（通常時・災害時とも）のための対策 ・ 事故発生時に適切な対応ができる体制の整備 (3) 利用者が快適に施設を使用できるよう、施設、設備、備品の維持管理を適正に行う。 【重点課題】 ・ 施設の建物・設備・備品について良好な状態を保つ方策 (4) 利用者の意見、要望等を適切に施設の管理に反映し、サービスの向上に努める。 【重点課題】 ・ 施設利用者へのサービス向上を実現するための具体的な計画 ・ 利用促進のために有効的なPR方法の提案 (5) 常に効果的かつ効率的な管理に努め、経費の節減を図る。 【重点課題】 ・ 管理運営経費の縮減が図られる管理計画 ・ 収支計画の妥当性

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	入場者数(年)	26,000人以上	18,217人	C	目標に達しなかった
	利用者満足度	利用者アンケートでの満足度 70%以上	「満足」80%、「普通」20%	B	
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望に対する5営業日以内の回答及び区への当日内の報告	発生時には速やかに区に報告し、個別の対応を実施	B	
	設置目的に合致したサービス提供	年間3回以上の実施	変わり湯、ビンゴ大会、ポイントラリー等を実施	A	集客に繋がる独自の事業を計画・実施し目標を達成した
財 務	利用者1人あたりの運営経費	360円以下	611円	C	目標を達成しなかった(光熱水費・物価高騰の影響)
	使用料収入額(年)	750,000円以上	727,170円で前年度より100,350円増加	C	入場者数の減少によるもの
	光熱水費・委託料等の削減	電気・ガス代等経費の削減努力	こまめな電源切と省エネPOPによる啓発	A	設備運用の見直し・節電啓発を評価
業 務	事業計画・事業報告の適切さ	内容の適切、定められた期日までの報告	期日までに報告	B	
	防災・避難訓練実施回数	年間2回以上実施	2回実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事件・事故発生時の速やかな処置及び報告	発生時には速やかに報告、必要に応じ報告書を作成・提出	B	
人 材	配置人員の業務理解度と能力習得度の向上	職員研修年2回以上の実施	年2回の研修とミーティングの実施	B	
	労働基準の充足	労働基準法、労働安全衛生法その他の労働基準に関係する法令の遵守	各法令を遵守	B	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和6年度利用者数は18,217人(昨年度実績610人増加/昨対103.5%)と堅調に利用者数が伸びた年となりました。評価指数である26,000人には及びませんでしたが、昨年より展開している弊社指定管理9施設共催イベント【秋の湯めぐりスタンプラリー】【お風呂大好き選手権】による新潟市内施設回遊・リピート利用促進、令和7年2月からスタートした9施設共催イベント第二弾【みんなのお風呂川柳】による非入浴者の集客にて、懸念されていた利用者数減を最小限に食い止められたものと考えております。また、入浴設備修繕・空調設備運用方法見直しにて湯温・室温管理を励行した結果、光熱水費節約においては一定の成果が見られました。今後につきましては、引き続き新規利用者増につながるイベント開催ならびに夏場のコミュニティオアシス開放、そして日常の運営に関してご利用者の満足度を上げるべく「アンケート箱」の利用者の声を運営に反映しながら、令和6年度同様に安全・安心・楽しいを旨とする施設運営に取り組んでまいります。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

コロナ禍以降入場者数の回復が難しい傾向であるが、独自の事業を計画・実施し、入場者の増加に繋げる努力をしている。新規利用者やリピーターも増加しており、指定管理者の事業企画、運営を評価する。「アンケート箱」の利用者の声を施設運営に生かし、光熱水費・物価高騰の中、設備の運用方法の見直しを行い経費節減を図っており、設置目的に即した適正な管理・運営を行っている。